

(2) 授業実践 (運動領域)

ア 低学年の取組 第1学年

(ア) 授業実践のポイント

単元名	中央小ジャンプオリンピック
単元のゴールの姿	いろいろな跳び方を知り、仲間と声をかけ励まし合いながら場や遊び方を工夫するとともに、その他の運動遊びに生かしたり、進んで運動遊びに取り組んだりする児童。
本単元で働かせる見方・考え方	前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりしたりして「する」、友達の動きを「見る」、友達と協力したりして「支える」、跳び方等を「知る」といった運動遊びとの多様な関わり方で楽しむこと。
仮説1について	(体育の「見方・考え方」を働かせる学習過程や学習活動の工夫) ・オリエンテーションで学習の流れを十分に確かめ、幅跳び遊びとケンパー跳び遊びを同様の学習の流れで活動を行うことで、運動量を確保し、無理なく運動に楽しむことができるようにする。 ・授業の途中や振り返りの場面で、よい動きをしていた友達を紹介する時間を設けるようにする。

(イ) 授業の実際 (本時 3/5)

過程	学習活動と主な発問 (T)	教師の支援 (・) と子どもの反応 (C)
導入	1 課題をつかむ。 ① 準備運動 ② 跳び遊び (太鼓リズム遊び、あしじゃんけん、だんごむしゲーム) ③ 本時のめあてを確認する	C: だんごむしゲームでは助走をつけて跳ぶぼう。 ・ 跳び遊びでは、前後左右や上方に跳んだり、助走をつけて跳んだりする声かけを行った。 
<p>【めあて】自分達の幅跳びランドをつくって、お気に入りのランドで楽しもう。 <学習課題>どんなコースにしたらみんなが楽しめるかな？</p>		
展開	2 課題解決に向けて活動する。 ① グループで幅跳びランドを作り、楽しむ。 ② 他のグループが作った幅跳びランドを楽しむ。 T: 箱が重なって高いところはどうかやると跳べるかな？ T: 友達の動きを真似してみよう。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学びの姿】 グループの友達と話し合ったり、試したりしながら、オリジナルの幅跳びランドを作っていた。 跳び方や場を選び、楽しみながら跳んでいた。</p> </div> ③ 自分のお気に入りのランドを選んで楽しむ。	   <ul style="list-style-type: none"> ・ 視点を与え (くねくね、ジグザグ、箱、島)、話し合いながら場づくりができるようにした。 ここに島を置いたら楽しめそうだな。 腕を振って跳ぼう。 ・ よい動きの児童を全体で共有した。 箱のところは下がって助走をつけて跳ぼう。 ・ おすすめのポイントを紹介した後、全ての場を経験させ、お気に入りの場を選ばせた。
終末	3 振り返りをする。 T: ランドや跳び方でどんな工夫ができたかな。	C: 箱を重ねておもしろいランドを作りました。 C: 回りながら楽しく跳んでみました。

(ウ) 考察

- ・ 仲間と声をかけあいながら、自分達で場づくりをし、お気に入りの場を選んで跳び方や遊び方を工夫しながら楽しんだことで、意欲的・主体的に活動できていた。
- ・ 授業の途中で友達の動きを「見る」時間を設け、よい動きを全体で共有したことで、跳び方を工夫したり友達の動きを真似したりしようとする姿が見られた。